

文化庁メディア芸術祭20周年企画展—変える力



会 期：2016年10月15日（土）～11月6日（日）
 会 場：アーツ千代田 3331/NTTインターコミュニケーション・センター [ICC]/
 UDX THEATER/国立新美術館/千代田区日比谷図書文化館
 主 催：文化庁メディア芸術祭20周年企画展実行委員会
 対 象：一般、アート・エンターテインメント・アニメーション・マンガなどのク
 レイティブ関係者
 公式サイト：http://20anniv.j-mediaarts.jp/

総来場者数：31,854人

■開催内容

文化庁メディア芸術祭は、1997年の開催以来、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルとして、国際的な発展を続けています。メディア芸術祭の20周年を記念して開催する本展では、「変化」をキーワードに、過去に審査委員を務めた4人の監修者によって選ばれた、歴代の受賞・審査委員会推薦作品の展示や上映等を行い、変容し続けるメディア芸術の多様な表現を紹介しました。

■2016年度の新規取り組みとその成果・特色など

本展は、メディア芸術祭の20年の歩みを辿ることで、メディア芸術と、それを取り巻く社会、文化、テクノロジーの「変化」や「流れ」を感じ取ることができる貴重な機会とした。「変化」や「流れ」は作品に内在する力とどのような関係性があるか。今回開催した本展は、作品が持つ「変える力」に焦点を当て、その延長線上に現れるメディア芸術の未来について考察する場とした。

■他イベントとの連携事例とその成果

同時期に各所で開催されている展覧会・個展・トークイベント・ワークショップ等と連携し、告知などの広報連携を行った。(例：TRANS ARTS TOKYO 2016「UP TOKYO」、パナソニックセンター東京 特別企画展「文化のちから 一くらしを彩る、ニッポンの美意識。」等)。

また、連携企画として会期中に会場やコンテンツの共有などを行い、イベントや上映会を実施した。(国際交流基金アジアセンター「Liquid Asian Pop Scene」、インターネットヤミ市実行委員会「インターネットヤミ市 東京2016」、北九州市漫画ミュージアム「文化庁メディア芸術祭20周年記念上映会 短編アニメーション傑作集」、海外漫画フェスタ実行委員会「海外マンガフェスタ2016」、2k540 AKI-OKA ARTISAN 「「糸玉モンスターをつくろう!」ワークショップ」、明治大学 米沢嘉博記念図書館「東村アキコトークショー」「ライバル編集者、東村アキコを語る!」、COMITIA 実行委員会「COMITIA118 見本誌読書会」、ソニー(株) (Life Space UX Lab.) 「『空間観察学』 presented by ソニー Life Space UX Lab.」、情報科学芸術大学院大学 (IAMAS) 「メディアパフォーマンスとは何か? IAMAS20周年から考える」)

